

①取組主体

名称 : 花の里かがわ推進委員会
担当窓口 : 香川県農政水産部農業生産流通課
住所 香川県高松市番町4-1-10
電話 087-832-3422 FAX 087-837-2481
E-mail tm7555@pref.kagawa.lg.jp

団体等の種類 : その他(協議会)

構成員数 : 15団体

活動内容を紹介するHP、情報誌等の有無 : 無

②連携している団体等の有無 : 有

→(有の場合)連携している団体の属性(複数回答可、主な団体等のみ) :
市町村、学校、農林漁業者、その他(香川県花き園芸協会等)

③取組地域 香川県内(さぬき市、高松市、丸亀市、三豊市)

④取組開始時期・経緯(動機含む)

取組開始時期 : 平成17年度

経緯 : 全国カーネーション香川大会(平成17年度)の開催にあわせて、県内のカーネーション生産者で組織する香川県カーネーション協会及び(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部と連携して「花育事業」を開始。小学生のカーネーション栽培体験とフラワーアレンジメント体験を実施し、その成果を全国大会で発表。

⑤目的(目標)

花の栽培体験や利活用体験を通じて、子供達に花の魅力を感じてもらい、花を暮らしに取り込み楽しむきっかけづくりとする。あわせて、取り組みを広く県民に周知し、花のある豊かな暮らしを提案する。

⑥参加者数・属性推移

平成18年度

キク : 丸亀市立栗熊小学校 2, 3, 4年生全員69名

カーネーション : 高松市立大野小学校 5年生全員82名(17年度)、60名
高松市立安原小学校 3, 4年生全員22名

マーガレット : 三豊市立仁尾小学校 5年生50名

ランタンキュラス : さぬき市立長尾小学校 5年生全員61名

盆栽 : 高松市立鬼無小学校 5, 6年生全員93名

高松市立国分寺北部小学校 3年生全員130名

⑦経費

平成17年度 221千円、平成18年度 1,000千円（予定）

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

（県内の花き生産者で組織する香川県花き園芸協会、各農業改良普及センター、市町、（社）日本フラワーデザイナー協会香川県支部と連携し花育事業に取り組んでいる。）

子供達が、生産現場のほ場で、実際に生産者（県内の花き生産者で組織する香川県花き園芸協会等）の指導をうけて、定植、摘芯、芽かぎ、収穫等の作業を体験する。栽培技術の指導は、生産者が中心になって行う。地元で生産している花について学校で調べ学習等も実施している。

栽培指導や学校との連絡調整については、地元の農業改良普及センターや市町と連携して行った。

また、栽培だけでなく、その花を利用した活用については、（社）日本フラワーデザイナー協会香川県支部の協力を得て、フラワーアレンジメントを実施するとともに、

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

子供達が生産現場で実際に栽培を体験することで、地元で生産されている花への関心が高まった。

取り組みを広く県民に周知し、花のある豊かな暮らしを提案することで、県産花きの消費拡大に大きく寄与した。

⑩今後の構想、課題

県内で生産されている代表的な花きについて取り組む。

単年度の取り組みではなく継続した取り組みが必要。

⑪その他

別添1：事業取組実績

別添2：広報誌（抜粋）

平成18年度花育事業取り組み実績

品目	取り組み校	学年(人数)	定植	摘芯	芽かぎ	収穫	アレンジメント	栽培管理の講師(生産者)	アレンジメント講師
カーネーション	高松市立大野小学校	5年生(59名)	6月16日	7月7日	—	11月10日	11月11日	カーネーション協会 岡内氏ほか	(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部
	高松市立安原小学校	3・4年生(22名)	7月4日	7月18日	—	11月8日	11月8日	カーネーション協会 真鍋氏ほか	(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部
キク	丸亀市立栗熊小学校	2・3・4年生(69名)	7月7日	7月19日	9月22日	10月25日	10月26日	栗熊ガーデン 川西氏ほか	(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部
マーガレット	三豊市立仁尾小学校	5年生(49名)	7月18日	8月21日	9月21日	10月24日	11月29日,3月15日	仁尾町支店花き部会 辻氏ほか	(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部 仁尾町支店花き部会
ランタンキュラス	さぬき市立長尾小学校	5年生(60名)	9月28日	—	—	12月7日	12月8日	江崎氏	(社)日本フラワーデザイナー協会香川県支部

※定植: 苗を植える 摘芯: 先端部の摘み取り 芽かぎ: 不要な芽をとる 収穫: 花を切る

品目	取り組み校	学年	実技	学習会	見学会	実技	苔玉づくり	栽培管理の講師(生産者)	苔玉づくり
盆栽	高松市立鬼無小学校	5・6年生(93人)	5月19日、6月	7月	10、11月	2月	10月13日	鬼無植木盆栽センター 神高氏ほか	鬼無植木盆栽センター 花沢氏
	高松市立国分寺北部小学校	3年生(130名)		7、11月	6月	10月13日	10月13日	国分寺盆栽部会 平松氏	国分寺盆栽部会 平松氏

国分寺は学校で盆栽アレンジメントも実施した

※苔玉: 山野草や観葉植物など好みの植物の根をケト土(湿地の植物が腐ってきた黒い粘りけのある土)で包み、表面に苔を巻き糸で固定し密生させたもの。今回は、ケト土、苔のかわりに、水苔を使って作ります。



西は瀬戸内海に面し、聳る三方を山に囲まれている仁尾町。城下町の面影を残す街並みの中にある仁尾小学校。全校児童328名。

発表会に向けて
 益々熱意たまる！
 今、5年生全員(50名)で発表会の練習をしています。7月にマーガレットの定植をして、11月に収穫し、親子フラワールンジメントをしたことまでを発表するよ。



発表する会場は大きなステージ。みんなに見えようように聞こえるよ。



「ジャパンフラワーフェスティバルinかがわ」で発表するよ!



～三豊市立仁尾小学校～

3月2日～4日まで開催される「ジャパンフラワーフェスティバルinかがわ」。4日にサンポートホールで、仁尾小学校の5年生がマーガレット栽培について発表を行うよ。三豊市のマーガレット生産量は全国一なんだ。「わたしたちの自慢であるマーガレットについてみんなに知ってもらいたいなあ」という気持ちで発表会の練習をしているよ。



田んぼと里山の (4)
いきものずかん



カメムシ目セミ科 ハルゼミ

●セミの若くは若くに成長が阻害されますが、ハルゼミは若虫のときより春4月下旬から6月下旬にかけて、松林などで観察することができるといわれています。

体高は35mmくらいで、オスはメスより体長が長く、メスよりわずかに大きい特徴をしています。はちばは透明ですが、全身は黄褐色で黒い毛が生えています。また強い合戦性があり、1匹のオスが複数のメスとつれ回って交配することもあるとされています。雄は雌を捕まえて、目のあたりに精子を注入します。

ごはん・お米
ひわたり

※このコーナーでは第30回「平成17年度」JAグループ主催の作文・図画コンクールから、県内小中学生の入学作品を紹介します。



「まきずし大好き」

三木町立東上小学校4年 多田 佐和子さん

いぬいによく似ています。ちみつに塗って、「おいしそうでしょ」と話しているようです。正確にもの本を描く、写真のように描く、それだけでは思いつまらないものになってくるのです。絵としては平凡な点が多く、人物は平面的な感じがしますが、しかし、「おすしをちゃんとまきずしで描いていること」「おすしをまきずしで描く感じがひびひしと伝わってきます。他人の目を意識し、上手に描いてやろうと思っただけの真面目さが伝わってきます。

講師(同スクール運営委員長) 青川 清史先生



マーガレット
栽培に挑戦だ！

マーガレットの栽培は、花き生産部会の辻広貴さんのハウスで行ったよ。7月に一人10本ずつ定植。今にも倒れそうなのよ。立派な苗を、立派な

に、体を動かして、大きな声を出して練習しているよ。見所は人間フラワーアレンジメント。ぜひ、みんなに見に来てもらいたいな。そして、マーガレットを好きになっ



に育ちますようにと願いを込めながらいぬいに植えたよ。8月に摘心。来てみるとピツクリー。あんなに綺麗だった苗が、もう腰の高さまで生長していたよ。花をたくさん咲かすために、芽の先を摘んだよ。9月に剪定。この作業が一番

見えて、見えて！
キレイにできたでしょ



収穫したマーガレットで親子フラワーアレンジメントを行ったよ。初めての体験で、どうやら楽しかったよ。難しいかったよ。必要な枝にたくさんのお花がいくように、枝を10本残す作業、どれを残しているのか判断するのが難しかったな。茎が細いものや曲がっているものを選んで切り取ったよ。辻さんからは、この作業がマーガレット栽培の上で一番大切な作業ということも教えてもらったよ。



「ひまわり隊」のみなさんいつも、ありがたう。わたしの登壇を見守ってくださる「ひまわり隊」のPTAや花き生産部会の人たちで構成されているんだ。総勢、約70名もいるんだよ。6年生が作ったひまわりのワッペンをつけて、毎朝夕、パトリールしてくれている

レイに見えるのかバランスが崩しかった。今度、家でも挑戦して、いつも部屋に花を飾ってほしいな。

講師 久仁子
校長先生のお話

5年生は今まで最長期間の学習の時間、小倉(正)の先生が、この栽培に打ち込み、花き生産部会が行ってまいりました。今年度は、地域の花き生産部会の協力を得て、花き生産部会に参加し、マーガレット栽培にも取り組んでいます。この学習を通して、花き生産部会の人たちと交流することや、農業者の人たちの花き栽培にかける夢や情熱がわかることになりました。また育てたマーガレットを、親子フラワーアレンジメントでも楽しみました。農業体験や農業者の人との交流により、地域のすばらしさを実感し、ふるさとを大切にしようとする意識を「フラワーアレンジメント」が伝えてくれると思います。

えだよ。だから、わたしたちはいつも安心して登壇できるんだ。いつも、ありがたうございます！